

議案第6号

木古内町ゼロカーボンシティ宣言について

木古内町ゼロカーボンシティ宣言を別紙のとおり行う。

令和5年6月22日提出
木古内町長 鈴木 慎也

木古内町 ゼロカーボンシティ宣言

近年、温室効果ガスによると思われる地球温暖化により、世界各地で気候変動や異常気象が観測され、我が国でも平均気温の上昇や記録的な大雨、生態系の変化がおきています。今後ますます、環境の変化によるリスクが高まり、私たちの暮らしに更なる被害を及ぼすことが予測されます。

パリ協定に基づき、地球温暖化への対応が世界標準となる中、我が国は2020年10月に、2050年までに温室効果ガスの排出を全体でゼロとする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

地球温暖化対策は国や都道府県だけでなく、市町村における取り組みも非常に重要です。

豊富な森林資源を有する本町では、これまで計画的な森林整備による豊かな森づくりを推進し、森林吸収による温室効果ガスの削減に寄与してまいりました。また、公共施設の照明のLED化や、ボイラー等設備更新による、省エネルギー化にも積極的に取り組んでいます。

今後は、町民・事業者・行政が一体となって再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化の更なる促進、先進技術の活用による環境負荷の低減等を推進し、2050年までにカーボンニュートラルとする「ゼロカーボンシティ」を目指してまいります。

令和5年6月22日

木古内町長 鈴木 慎也